

はじめに

かごしま県民大学中央センター（以下「本センター」）の令和2年度事業報告書をまとめましたので、ここに報告します。

本センターは、平成30年12月の中教審答申「人口減少時代の新しい地域づくりに向けた社会教育の振興方策について」の「人づくり」「つながりづくり」「地域づくり」をキーワードに、平成31年2月に策定された「第3期鹿児島県教育振興基本計画」に基づき、県民の皆様が生涯を通じて学び活躍できる環境づくりの実現を目指して、「調査・研究」「学習機会の提供及び人材育成」「学習情報の提供」の視点で事業を行っております。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による影響で、多くの事業において、日程や実施方法の変更を余儀なくされました。未だ出口の見えないコロナ禍においても、「学び」を止めないために、施設の特性を生かしてオンラインによる「学び」の提供にも取り組んで参りました。具体的には、新たにタブレットとモバイルルーター等を整備し、学習推進係、学習情報係の執務室を統合して新たな時代の生涯学習の在り方を模索していくこととしました。また、昨年度から、本県の生涯学習センターとして、これまで以上に市町村・大学等と課題を共有し、連携を深め、本県生涯学習の中核施設としての役割を果たせるよう、事業の方向性等の検討を進めて参りました。

本年度の新たな取組として、「調査・研究」では、「かごしま県民大学中央センター大学等連携懇談会」を実施しました。研究テーマを「本県の生涯学習推進のための、市町村支援の立場に立った生涯学習推進センター（本センター）と高等教育研究機関としての大学等の協力体制のあり方」として、県内4つの大学から7人の研究者に参加いただき、各大学等が実施する公開講座や地域貢献事業等の状況等について情報交換し、今後の連携のあり方について協議しました。

「学習機会の提供及び人材育成」では、本年度から「かごしま青年塾」運営事業を本センターの主催事業として実施しました。あわせて、先進的な取組を行う企業等を訪問する現地研修を増やし、講師との対話、意見交換の時間を増やすなど、事業の充実に努めました。また「かごしま県民大学連携講座」は、県民交流センターを会場に実施する講座を、「かごしま県民大学とことんなまなぶー講座」として新たに位置づけ、事業の重点化と事務の効率化に努めました。また「学習情報の提供」では、「メールマガジン」を月1回、県内市町村や教育機関等に配信し情報の提供に努めてまいりました。

本報告書が市町村をはじめ、多くの社会教育関係者の皆さまに活用され、各所での事業推進の一助となれば幸いです。

結びに本報告書の作成に当たり、多大な御尽力、御協力を賜りました関係者並びに各関係機関の皆様へ深く感謝申し上げますとともに、今後とも本センターの各種事業に、御支援、御指導を賜りますようお願い申し上げます。

令和3年3月

かごしま県民大学中央センター
所長 青谷 有美代